



小児外科のご案内

小児外科とは

小児外科には頸部から腹部までの体表、呼吸器、消化器、生殖器や泌尿器など様々な部位の疾患が含まれ、先天性疾患も多いです。患者さまの年齢は0才(新生児)から15才(中学生)です。疾患によっては成人になってからも経過観察を必要とするため、移行期医療(トランジション)にも取り組んでいます。

当院にて診療できる疾患

当院では様々な疾患を診療できますが、手術が必要になった場合でも、侵襲が少ない腹(胸)腔鏡下手術や単孔式手術を積極的におこなっています。以下に診療が可能な疾患を示しますので、当てはまる疾患がありましたら、どうぞお気軽に当院小児外科までご相談ください。

鼠径ヘルニア、臍ヘルニア、停留精巣、包茎、陰唇癒合症、肥厚性幽門狭窄症、胃食道逆流、胃軸捻転症、腸重積症、副耳、リンパ管・血管奇形、舌小帯短縮症、正中頸嚢胞、下咽頭梨状窩瘻、側頸嚢(嚢胞)、臍ポリープ、尿管遺残症、自然気胸、漏斗胸、肛門周囲膿瘍(痔瘻)、便秘症、急性虫垂炎、鼠径ヘルニアの嵌頓、異物誤飲、外傷。

※精巣捻転症については時間外の対応はできません。

治療実績

過去3年間での小児外科疾患の手術実績を下の図に示します。年間平均手術件数は67件であり、その多くは鼠径ヘルニアと急性虫垂炎でした。急性虫垂炎は緊急手術になることが多い疾患であり、積極的に受け入れをおこなっています。緊急手術も年間20件ほどおこなっております。2023年9月付けの読売新聞で「病院の実力」として取り上げられた際には、急性虫垂炎の実績が民間病院ながら大阪府下で2番目でした。

富田林市	14	大阪狭山市	4
羽曳野市	12	松原市	3
堺市	9	河南町	2
河内長野市	7	太子町	1
藤井寺市	6	東大阪・八尾・岸和田・和泉など	6
大阪府下	65		
府外	4		

表1. 当院小児外科に紹介があった近隣の医療施設数

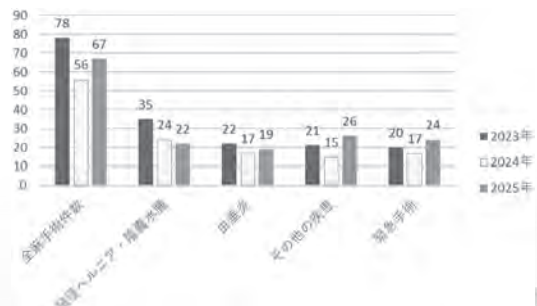


図1. 過去3年間の小児外科手術の実績

お問い合わせ：外科外来 TEL：0721-24-3100(代表)